

ト製品については
室認定リサイクル
を原則使用する方
度をもとめる。
、災害対応空白地
しないよう、市町
携して、建設産業
体と地方自治体と
協定の促進を促す
いる。

がれき活用の加速化を

第2回全体会議

震災がれき
コン

産学連携による「震災
がれきと産業副産物のア
コケーション最適化コン
ソーシアム」(代表、久田

真東北大学教授)の第2
回全体会議が7日、仙台
市のホテルモントレ仙台
で開かれた。

協議会のメンバーや行
政関係者など約140人
が参加。冒頭、久田代表

後現場に移動
の様子を写真
完了した掘削
工場の設置作

きな病院ならではの特
殊な部屋となるだけ
に、生徒の注目を集め
ていた。

新病院は、仙台市太
白区あすと長町1丁目
1番地の敷地面積3万
5,018平方メートルに、
RC造地下1階、地上
11階、塔屋1階建、
延べ5万2,286平方
メートルの病院本館(免震
構造)、延べ1,364
平方メートルの厚生棟、延べ
2,150平方メートルの研
修医宿舎棟を建設す
る。2014年度の開
院を予定している。

いて説明を受け
もに、コンク
の打設状況や鉄
コイントを圧接
子などを見て
また、放射線
行つてリニアツ
の施工状況も見
射線が外部に漏
ぶように1・4層
クリートの壁に
の鉄板を埋め
いうもので、大



震災がれきコン

ることが大事だ。とあい
さつした後、各部会が活
動状況を報告した。
コンクリートがれき有
効利用検討部会(幹事・
大林組)は、骨材やスラ
グ系材料として盛土、高
上げ、申請め、港湾構造
物などで利用できると説
明。今後、発注者を対象
に利用可能なコンクリー
トがれき量やニーズの把
握を調査するほか、有効
利用技術集を作成する方
針を示した。

また、がれき焼却残渣
有効利用検討会(幹事・
鹿島)は、環境安全性、
放射性物質の影響、用途
に応じた品質についての
検討結果を報告。津波堆
積土砂有効利用検討部会
は(幹事・住友大阪セメ
ント)は、自治体から入
手した土砂サンプルを基
に各社が保有する技術の
試験を行う方針を示し
た。

東北整 岩手県 陸道

東北地
国道事務
沿岸道路
工事で全
岩手県が
で整備し
復旧工事
撤出作業
岩手県

る土砂は
市町で確
城振興局
調整。市
区構造物
ら発生す
立方貯を
崎地区の
大船渡市
基盤整備
が決まっ
陸前高
区31で
に活用す